

製品名: Nkx-3.1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14736**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	NKX3-1
別名	NKX3-1; NKX3.1; NKX3A; Homeobox protein Nkx-3.1; Homeobox protein NK-3 homolog A
遺伝子 ID	4824.0
SwissProt ID	Q99801
免疫原	抗血清はヒト NKX3-1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

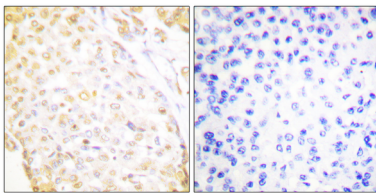
この遺伝子は、ホメオボックスを含む転写因子をコードしています。この転写因子は、前立腺組織における上皮細胞増殖の負の調節因子として機能します。この遺伝子の異常発現は、前立腺腫瘍の進行と関連しています。選択的スプライシングにより、この遺伝子

の複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2012年1月]、代替製品：追加のアイソフォームが存在するようです、疾患：NKX3-1は、前立腺癌によく見られる8p21ヘテロ接合性欠損の標的遺伝子の1つと考えられていますが、前立腺癌においてこの遺伝子のコード領域の破壊や変異は発見されていません。、機能：転写因子であり、コンセンサス配列5'-TAAGT[AG]-3'に優先的に結合し、転写抑制因子として作用します。前立腺における腺上皮の増殖制御および管形成において重要な役割を果たす可能性がある。、誘導：アンドロゲンによって、またLNCAP細胞株においてはエストロゲンによって誘導される。前立腺癌細胞において、アンドロゲン依存性からアンドロゲン非依存性への腫瘍進行過程において、アンドロゲン制御が失われる可能性がある。、類似性：NK-3ホメオボックスファミリーに属する。、類似性：1つのホメオボックスDNA結合ドメインを含む。、サブユニット：血清応答因子(SRF)と相互作用する(類似性による)。SPDEFと相互作用する。WDR77と相互作用する。、組織特異性：前立腺で高発現し、精巣でも低レベルで発現する。、

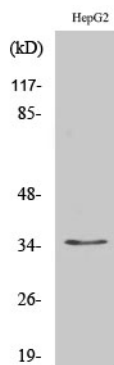
研究分野

がんの経路;前立腺がん;

画像データ



NKX3.1抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



Nkx-3.1ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。